

令和6年まちづくり懇談会会議録

開催日時	令和6年1月20日（土）10:00～
会 場	柏台会館
自治会名	柏台第1自治会、柏台第2自治会
出席者	<p>【町側】 大野町長、田中副町長、久保田教育長、柴田総務部長、上田保健福祉部長、水谷産業建設部長、中島地域振興部長、藤沢教育部長、樋爪企画課長、田中企画課広報広聴・統計係長 10人</p> <p>【自治会側】 18人（男性10人、女性8人）</p>

《顛末内容》

主 な 内 容	
開 会	10:00～ 樋爪企画課長
自治会長挨拶	<p>皆さんおはようございます。お寒い中、ご参集いただきまして、誠にありがとうございます。本来であれば、自治会の会長さんが来て、ご挨拶をするところでございますけれども、今日はどうしても出れない所用がございまして、私が代わって、簡単ですけどもご挨拶をさせていただきたいというふうに思います。早いもので、もう年明けて20日になりますが、皆様とお顔を合わせるのは初めてでございます。明けましておめでとうございます。考え返し新年を皆様、ご家族共々ご健勝でお迎えになられたこと、心からお祝いを申し上げたいというふうに思っております。</p> <p>さて本日は、例年実施しております。町まちづくり懇談会ですか。ということで皆さんにご案内差し上げましたところ、お集まりをいただきまして誠にありがとうございます。町長様初め、町の職員の方々におかれましては、今日は土曜日ということもございまして、普通であれば、ご自宅で十分、お休みをいただいている曜日かなというふうに思いますけれども、町政、それから地域の住民のためにこうして休みを返上して、おいでをいただいておりますことに心から皆さんとともに感謝を申し上げたいと思います。どうもありがとうございます。それではですね、これから限られた時間ではございますが、町のほうからいろいろとご説明をいただいて、そして皆様のご要望、意見を集約して役場のほうに持ち帰って、もし反映できるものがあれば反映していきたい、という趣旨でございますので、どうか忌憚のないご意見を後ほど出していただければありがたいなというふうに思ってます。また、今年1年、自治会の皆様には、ご協力・ご指導いただきますようお願いを申し上げまして、簡単ですけど、挨拶にかえさせていただきます。よろしく願いいたします。</p>
町長挨拶	大野町長挨拶

職員紹介	樋爪企画課長
資料説明 上田健康福祉部長	<ol style="list-style-type: none"> 1. 静内地区ごみ収集日の一部変更について 2. 東静内郵便局、本桐郵便局での住民票等証明書の交付サービスの終了について
(質疑) 自治会員A	<p>すいません。ごみの収集についてなんですけど。結構みんな間違っってね、燃えるごみ・燃えないごみ間違っって、いつもシール貼られる方がいるんですよ。どなたか分かりませんがね。それで、以前に、新ひだか町ごみの分別パンフレットっていうのを出していただいたことがあるんですよ。これ見たら平成27年の3月20日、私はこれを参考にしながら出すんですけど、きっとこれ持ってる方は少ないと思うんですよ。これにはすごく詳しく細かく出てるんですよ。それでこれをまた出してもらえるといいかなと思うんですけど。やっぱ若い人なんか新しく出てきて、こういうの持っていないと思うんですよ。それで、どうかなと思って余りにもちょっとシール貼られてる方が多いのでね。それをちょっと検討していただけないかなと思うんですけど。</p>
上田健康福祉部長	<p>はい。今、いただきましたご意見でございますけども、今年度ですね全部に配布するように、新たに作り直して配布する予定でございます。最近結構、外国人の方が増えたということもあまして、そういった外国語の表示ですとか、そういったいろいろちょっと工夫しまして改めてお知らせしたいというふうに考えてございます。</p>
自治会員A	<p>すごく便利なんですよね。分かりました。よろしくお願いします。</p>
企画課長	<p>他にご質問等ございませんでしょうか。</p>
自治会員B	<p>すいません。今のごみ収集の関係でちょっと追加なんですけど、ちょっと私聞いてなくて申し訳ないんですけども、燃えないごみの曜日が変更になってますけれども、これはいつからということですか。4月1日からってことですね。それとあわせてごみ収集の金網などの箱ありますね。その中で一応、大方のごみ収集箱には、プラスチック等で収集の曜日を記載するものがあるんですけども、こういったものを、一部において未設置のものというか無いものがあるんですね。そういった部分もありますので、プラスチック板といいましょうか、そういうものの設置についてどのように考えられてるんでしょうか。</p>
上田健康福祉部長	<p>そうですね、確認しますけどもそういったものをちょっと確認しながら対応する予定です。</p>
自治会員B	<p>よろしくお願いいたします。以上です。</p>

<p>企画課長</p>	<p>他にご意見・ご質問ございませんでしょうか。ごみ収集の関係と、住民票等の証明書のコンビニ発行について。</p>
<p>自治会員C</p>	<p>第2自治会の●●といいます。ごみのことなんですが、ごみのかごに看板です。あれを付けるということで、役場のほうで各自治会に何枚必要かとそういう問い合わせがあったので、そのあともう10年ぐらい経つんですけど、全然進歩がないんですよ。それで、できればごみ収集の曜日が変わったことだし、そういう看板をごみステーションにつけると。そういうことを検討してもらえないかと。よろしくをお願いします。</p>
<p>上田健康福祉部長</p>	<p>今のご意見でございますけども、先ほどのご意見と同様のご意見だと思っておりますので、併せて対応していきたいというふうに思っています。</p>
<p>企画課長</p>	<p>他にごございませんでしょうか。よろしいでしょうか。はい。 では次に進みたいと思います。意見交換でございますが、町政に対するご意見、ご質問、どんなことでも構いませんので伺いたしたいと思います。せっかくの機会ですので。</p>
<p>意見交換 自治会員D ・地域内防犯灯について</p> <p>水谷産業建設部長</p> <p>企画課長</p>	<p>柏台第1自治会の●●と申します。柏台地区の新しく建てられた公営住宅がずっとあるんですけども、夜歩いてみると非常に暗いです。道路と道路の幅、ここを4本くらいあるんですかね、上がってくる道路。以前、古い住宅のときはちょうど中間ぐらいに防犯灯がついてました。今はもう、両端にあるかないかぐらいで中間にはついておりません。夜になると非常に暗いということもございまして、できれば中間に設置するということを考えて要望をしたいんですけども、かなりお金がかさむかなとこんな思いをしていますが、一応要望として出しておきたいなというふうに思います。よろしくお願ひいたします。</p> <p>公営住宅関係の夜間の通路部分というところは、道路照明だとか防犯灯の設置しているところと、あと、公営住宅の必要な部分について、毎年防犯灯の設置要望を各自治会さんにご案内させていただいておりますので、設置して欲しい場所を要望いただければ町の方で検討し、予算の関係もありますので年次計画になりますが対応しておりますのでご理解願ひします。</p> <p>他にご質問、ご意見等ございませんでしょうか。</p>

<p>自治会員 E ・ 通路の補修について</p>	<p>柏台第 1 自治会の●●といいます。今、照明のお話が自治会員 D さんからあったんですけども、それと関連してこの柏台地区は傾斜地ということもあります。その中で道路ですね。住宅と住宅の間がかなり傷んでいるところが見受けられます。見ますとバス通りのところから、公営住宅の方に向かって何本かのところは、非常に車で通るとタイヤがパンクしそうなどところがあるわけなんです。こういったところについてですね、特に行政の方として、確認をさせていただいて整備をしていただければなというふうに考えておりますのでご検討方よろしくお願ひしたいと思ひます。1 個 1 個の関係で、終わったらこれはこの関係で終わったほうがよろしいでしょうか。</p>
<p>水谷産業建設部長</p>	<p>町のほうでも大規模補修というのは難しいですが、穴ぼこや亀裂など危険な箇所などについては修繕等に対応しておりますので、危険な場所だとか町の方でも現地確認しながら随時補修等をしておりますし、なかなか行き渡らない部分もあつたりもしますので、そういったところがあれば、役場の方に情報いただければ現地確認し対応していきたいと思ひます。今回のところについては改めて確認し、必要に応じて修繕等に対応したいと思ひますのでよろしくお願ひします。</p>
<p>自治会員 E ・ 道路管理について</p>	<p>道路それから傾斜のところの法面といいましようか、それから樹木等の管理について、それぞれ課によって違ふのかなと思ひますけれども、一般的にその道路とそれから、道路といいましようかそういったところは何課、建設課さんっていうふうに考えた方がよろしいですか。</p>
<p>水谷産業建設部長</p>	<p>建設課の方で町道の管理をしており、何かあれば建設課の方にご連絡いただければとおもひます。町道以外のことについても連絡いただければ担当の方に繋ぎますのでよろしくお願ひします。</p>
<p>自治会員 E</p>	<p>分かりました。</p>
<p>自治会員 F ・ 防犯灯管理について</p>	<p>今話した街路灯と防犯灯の違いが今まであつたんですよね。それが全部、町の方で対応していただけるんですか。例えば、今言つた町道で暗い場合、今までは町道は全部役場の方で見てくれたけど、その他の個人の住宅の中やその他は、防犯灯として自治会でお金を出して付けていたんですよね。それを今は役場の方で全部やっただけのわけですか。</p>
<p>水谷産業建設部長</p>	<p>道路照明については、防犯灯ですが 10 年ぐらい前の年度ははっきりしませんが、当時は自治会の方で対応していたんですけれども、今現在は町の方で設置するようにしており、管理の方も先ほどお話ししましたが、自治会において設置して欲しい箇所については、年度初めの頃に各自治会に要望を伺ひ、現状を</p>

<p>自治会員F</p>	<p>確認しながら設置するなどの対応しておりますのでよろしくお願いします。</p> <p>ありがとうございます。</p>
<p>自治会員G ・柏台地区の避難 受入について</p>	<p>申し訳ないです。別な関係でちょっと確認したいことあるんですけど、よろしいでしょうか。ご承知のとおり元旦に能登半島地震ございましたよね。その関係で、いろいろテレビ等で見ていると、すごくライフラインとかそういったものについて、すごく問題が多々山積している状況なんですけれども、この新ひだか町も浦河沖地震等を考えたときに、やはり災害になる可能性が高いと思います。</p> <p>そしてまた、この柏台地区としましては、津波等の心配はないわけですが、逆に反面、住民の方の受入れをする場所の一つになろうかと思えます。そういう中においては、この柏台会館も使われるのかなというふうに予測しているわけなんです。そういった場合、施設そのものの老朽化しておりますし、そしてここに上ってくるのにおいても駐車場の関係だとか、それから収容人数だとか、それを受入れするトイレとか、そういった関係のものが、いろいろ必要になってくるかと思うんですけども、これは町の方といたしまして、もし災害が起きた場合、想定の中において、この柏台地区はどのぐらいの収容人数を設けるのか、また、駐車場の確保、そういったものについての青写真的なものがあれば、ご説明していただきたいなと思えますので、よろしくお願いします。</p>
<p>柴田総務部長</p>	<p>総務部長の柴田と申します。座って失礼いたします。</p> <p>今、お話があった地震並びに津波の発生時の避難につきましては、町内各所に一時避難場所、これは一時的に自分の身を守る場所、その他、ある程度津波が引いた後に避難する避難所として町内各所を多数指定しております。</p> <p>ただ、実際に発生した地震によってどうなるのか、道路がどうなるのか、橋がどうなるのか、水道、電気等がどうなるのか、その辺は予測が非常に難しいところがございます。そういうことで一概に津波のときは柏台へというような決めはしてございません。そのときそのときで、避難が必要な人数ですとか、例えば火災ということもありますので、その辺が回避できる場所などを見ながらですね、町の方で最も適当と考える避難所を指定していくこととなります。もちろん大規模になればですね、学校施設とか、大きな体育館があるようなところを選ぶでしょうし、小規模であればこういう生活館などを選ぶこともあると思えますけども、そこは臨機応変に判断していくことになると思います。</p> <p>ただ私も1月1日、能登地震が発生したとき、戸惑ったんですけども、いざ、あれだけの規模の地震が起きたときには、皆様もご不安ですけども、我々も、自分の家族、親兄弟等がどうなっているか分かりませんし、もっと言えば我々自身もどうなっているか分かりませんので、まずは一義的には、自分の身は自分で守るという意識、もう近くの高台、もし鍵がかかっていたらガラスを割ってでもいいので、まずは自分の命を守るところ、加えて、隣近所の助け合</p>

	<p>い、ここが機能しなければ、命は救えないかなというふうに思っております。そこで、何とか助かった命を我々が避難所という形で、食料、あるいは、飲料水ですとか、あと生理用品・衛生用品等を配られるように、一定の備蓄の準備はさせていただきます。</p> <p>ただ、これが例えば、町民の大半が避難するような状態になったときには、正直、不足する数でございます。そのために、今、公的機関ですとか、民間事業者、今大体38ぐらいの企業団体等と連携をとりまして、食料品ですとか飲料水、また電気ガス、燃料等々を調達できる関係性を構築してございます。ただ、これとてですね、全ての機関が円滑に動けるかどうかは正直分からないところでございますので、そういうものを可能な限り最大限活用しながらですね、皆様の命・生活を守っていくということに全力を注いでいきたいと考えてございます。今、柏台生活館の方につきましては、特段、避難所として整備しようというような整備計画はございません。ただおっしゃるとおり、いざ逃げたときには、不足するものがあるんじゃないかというのは、常に我々も意識しながら、また、今回の能登地震で何が困ったのかというところも、よくよく勉強しながらですね、必要な備えはしてまいりたいと考えてございますので、どうかご理解いただきたいと存じます。</p>
<p>自治会員G ・各地域の避難マニュアルについて</p>	<p>いや一応、分かりました。ただ先日テレビで言っていましたけれども、緊急避難っていう部分において、それぞれその地区において、同じ新ひだか町においても、入船地区だとか本町だとか、末広とかそれぞれ場所によって、その状況によって、それこそ1・2・3というふうなそういうレベルがあるかと思えます。そういう中において、ちょっと私は不勉強なんですけれども、それぞれ、入船地区が起きた場合には、入船地区のどこそこの方は緊急避難しなさいとか、そういうマニュアル的な部分の、例えば、駒場であれば駒場地区の人はどちらのほうに行きなさいとかっていうような感じのですね、そういう防災マニュアルっていうかそういう、示し方といいましょうか、そういったものを、町民の方のほうに、お知らせいただければなと思うのと、過去の例ですけれどもここは平成15年のときでしたか、そういったときにおいても、災害のときに、やはりこちらの会館のほうに来て、避難していた方などもあります。そういう中で、やはり住民の方、それぞれ承知し得ない部分もあろうかと思うし、やはり津波だと思ったら高台登ってというのは、誰しも考えることですし、そういう中においてこの柏台地区が避難場の第1線ではなく、第2、第3線という部分はあるかと思えますけれども、何かしらちょっと分かりやすいような示し方で、もう一度町民にお知らせいただければ助かるなと思うんですけども、その点よろしくお願ひしたいと思えます。</p>
<p>柴田総務部長</p>	<p>はい。今のお話ですけども、今まさにおっしゃったようなことを踏まえまして昨年2月に防災ハンドブックっていうものを全世界帯に配布をさせていただきました。これには津波シミュレーションというものの中で、最大津波の到来する高さですとかを想定して、このエリアは5メートルまで来るよ、10メートル</p>

<p>自治会員G ・防火水槽の設置 について</p>	<p>まで来る予測だよということを、色で示しております。あわせて、その周辺のいわゆる一時避難場所になり得るところですとかをお示しさせていただきましたので、こういうことを自分はもし起きたらどうしたらいいだろうということで、これを見ながら、自分の身を守る場所をイメージしておいていただくことから始めてもらうしかないのかなということで、町の総務課の防災担当のほうで、いろんな自治会ですとか、小学校中学校、子どもたちも含めてですね、防災講話というのを継続的にやってございます。実際に地震が起きたとき、皆様がどこにいるのかっていうのは、正直分らないと思います。自宅におられることだけではないと思いますので、そういう意味も含めて、こういうハンドブックを見ながらですね、あそこに高いところがあるんだっていうのを、意識していただきたいと思いますし、町内のホテルですね、ある程度の高層階のホテルとは、避難できる協定も結んでおりますので、そういうところの3階、4階、5階等に避難していただくことも可能かと思えます。柏台の皆さんにとっては津波到来の心配はございませんので、ご自宅にいる限りは皆様の生活は大丈夫かとは思いますが、まち場にいるときに起きるかもしれませんし、その辺はこのマップをご活用いただきまして意識していただきたいですし、当町の防災講話についてお声掛けいただければいつでも飛んでまいりますので、遠慮なくお声かけいただければというふうに思います。</p> <p>この話は、もう何年も昔から話しているんですよ。役場でも申し送りで絶対あると思いますよ。ですから今、私、昔のときこういう話をしたんです。今、水道も35年も経ちました。この送水管が柏台に上がってくる。この施設が地震が来ていかれたときにどうするんですか。消火栓は3基ぐらい増えたんですけど、防火水槽的なものも一つ必要でないかということでお話ししたんですよ。それから、今、地震、津波など何かありましたら、絶対柏台に避難して来ると思うんですよ。真歌とかそんなところへは行かないと思いますよ。ですからそのために、多目的ホールみたいなものを一つ欲しいなということは、私も前から言っているんですけど申し送りはございませんか。お願いします。これ防火水槽だけはもう、今、復旧するために一つぐらい欲しいんじゃないかと思うんですよ。清水丘だってそうだと思いますよ。住宅がこれだけ混んで、それに、上がいかれたときには、やはり消防車で4,000リッターのタンク車が3台もあるから大丈夫だって言いますが、もし、ここだけでなくほかのところになったときどうするか。各町の中でも防火水槽ってものを設けてるってことだと思いますよ。だから、柏台は自転車を漕いでいるところもあるんですから、ああいうところにひとつ防火水槽をどうですかとお話したはずですよ。それが何十年たっても駄目です。それから向こうの海岸側の道路が上がってくるところが自動車が通る。そうしたら、子どもの的なものでもいいから防火水槽をお願いできませんかというお話もしたと思うんです。もう一度検討してください。お願いします。</p>
------------------------------------	--

柴田総務部長	<p>各地区いろいろ回らせていただく中で、ご要望というのは様々なものがございます。町の財源にも限りがありますし、対応として、防火水槽を置かなくても、対処のしようがあるという現状の中で整備してないものはしていないところがございます。もちろん、改めましてのお話ですので、再度、持ち帰って、情報は共有したいと思いますけども、ご要望どおりいくということは確約できませんので、その辺はご理解いただきたいなというふうに思います。</p>
自治会員G	<p>だから、それいつまでっていうことになったら、災害はいつあるかわかんないってことを言っているんですよ。そのために一つ火事になった時になったときに、消防車で水を積める車が3台・4台あるというが火事、そういうふうになったときのために防火水槽的なものを一つ設けて欲しいということ言っているんですよ。</p>
柴田総務部長	<p>ご要望を否定しているわけではありません。 ただ、防火水槽を設置するという方法、また、それ以外の方法を考えたときに、今はそれ以外の方法があるという判断のもと設置してないんだと思います。ちょっと消防の職員ではないので、推測も含めてお話しておりますけども、お気持ちはご理解いたしますが、町とすればそれを知らない、いざ何かあってもしょうがないということではなくて、消防も様々な連携体制もっておりますし、いざというときには総力を結集して、消火等に当たる準備行為はしておりますので、何とかご理解いただければなというふうに思います。</p>
大野町長	<p>今、防火水槽の話ありましたよね。東静内で火事があった時、結構最近の出来事なんですけど、あのときに東風がすごく強かったんですが、僕、●●さんの言われるように思ったんですけど、これは治まるかなあというふうに思ったんです。 そのときに、東静内地区のケースですけども、あそこでもやはり水を引っ張るのが大変だったんです。国道を渡して水を引っ張ったりですね、かなりの本数、消防団ね。そのときに今、防火水槽ってお話ありましたけど、今、大きなですね、小さい子どもがプールありますよね。いやね、大きいやつがあるんですよ。あれを開いて、それに今度ミキサー車、ミキサー車の中、コンクリじゃなくて、水を入れてミキサー車でそこに水を入れて、それをホースでポンプアップし、消火するっていう方法がある。ですから、今その防火水槽っていう概念といいますかね、確かにあった方がいいです。そういう地震とかで火災が起きたときには、むしろこの柏台地区よりは、下の方がもうあんだけ建物が密集してたら、延焼始まっているっていうふうに思いますね。そうなったときに防火水槽よりはそういう、何かツールで機動性を持って動けるようなスタイルそれの方がもしかしたら良いのかもしれないなあというふうに感じてます。防火水槽が各地にできればそれは良いことなんですけどなかなかそうはいかないんで、そういうところもコンクリート会社の方々と協定を結びながら、実際に走らせてもらってますんで、そういう対応になるのかなあと思っております。 ただ、災害が来たとき、地震が来たときに、自分自身がもしかしたらその時</p>

	<p>間帯によっては家から出られないかもしれませんね。やはりそうなると、動ける人たちが、積極的に助け合いながら避難誘導したりすることがやっぱり大切だと思います。できる限りそういう臨機応変に対策体制を組みながら対応していきたい。恐らく、災害対応マニュアルどおりいきませんから、現場にいる人の判断、それが1番大事になります。マニュアルどおりにはいかない。ただそのマニュアルを頭の中に入れとけば、違う条件に対応できるという。皆さんもさっきマップですとかハンドブックの話もしましたが、時間があるときにはもう1回見て、こんなもんかというふうにですね。考える機会、今回の災害を機にそういった形になればいいと思いますのでよろしくをお願いします。</p>
<p>閉会挨拶 大野町長</p>	<p>ご心配の話、いろいろ出ましたその中で一つごみステーションのところに何曜日との表示をすること。曜日が変わりますので当然やはりそういうところは我々が調査しながら対応してかなきゃならないかなというふうには思っております。やはり、ごみステーションというのは、利用される人たちの気持ちによってですね、変わると思っております。まずは、ごみステーションをきれいにしなければ、投げる場所を守らないで投げってしまうという感じでありますから、皆さんご苦労されているかと思いますが、実際いろんなことをやられてると思いますが、まず町でその看板を設置し、ちょっと調査させていただいて対応させていただきます。</p> <p>あと災害についてですが、私、昭和57年の浦河沖地震の当時、震度7でしたがそのとき私、浦河におりました。浦河に住んでいたところよりは実家である静内末広町2丁目なんですけど、実家に帰ったら地震で台所にあった冷蔵庫が茶の間に飛んできていました。当時、ちょっと家空けて、両親もちょっと出かけていたもんですから家にいなかったんですけど。家の中にいたら、例えばもう足の裏がもうスリッパでも履いていなかったら歩ける状況ではなかった状況でした。地震というものはそういうものだというふう感じてます。そういう中で津波が来るんで逃げるんですが、逃げられる状況かっていう感じになるんですよね。ですから皆さんもそういう少なくともそういうことになる。そこを意識しながら、生活をしていただければ、決して困ることはない、自分1人じゃないですから、みんな同じことになってますから、その中でやっぱり助け合うということが必要だというふうに思いますので、そのような気持ちでですね、災害のない年を今年1年願っておりますけども、災害が来たときにはお互いが助け合うということが大事だと思っております。よろしくをお願いします。どうも今日はありがとうございました。</p>
<p>閉会</p>	<p>10:46 終了</p>